

製作・監督・脚本 藤原智子

ルイズその旅立ち

キネマ旬報1997年度文化映画部門ベストテン第1位

毎日映画コンクール1997年度記録文化映画賞

日本映画ペンクラブ1997年度ノンシアトリカル部門第1位

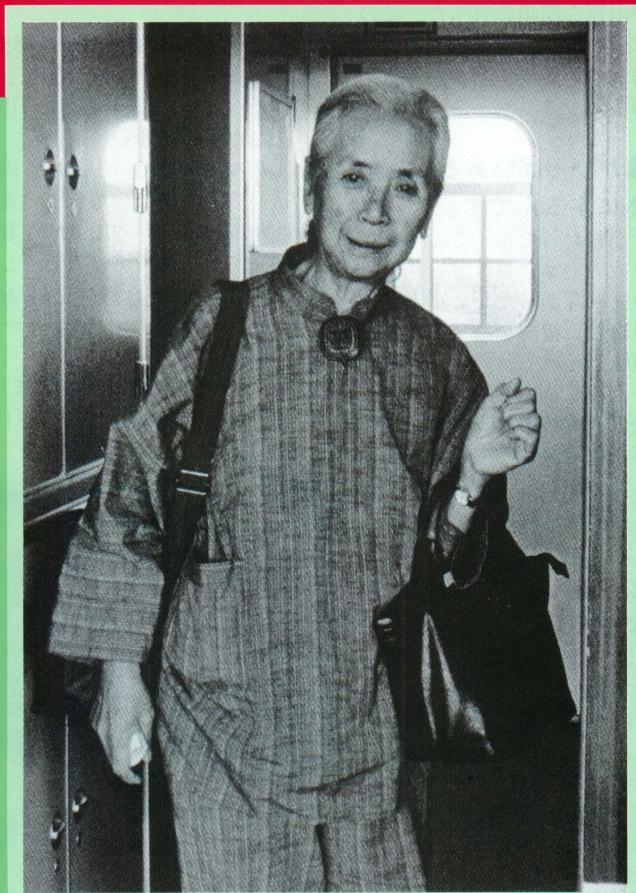
第6回スポニチ文化芸術大賞優秀賞／第17回藤本賞・新人賞



大杉 栄



伊藤野枝



「杉の子たちの50年」に続き、日本の近・現代史の深層に迫る。
父は大杉 栄、母は伊藤野枝。
両親の思想と情熱を受け継ぎ体現した
市民運動家 伊藤ルイズさんの生涯！

製作・監督・脚本 藤原 智子／製作 鈴木 久雄、銀川 桂子／撮影 宮内 一徳、海老根 務
編集 吉田 栄子、加納 宗子／音楽 原 正美／解説 武藤 礼子／録音 福島音響
本篇題字 前島 友子／製作協力 米村 栄子／撮影助手 外川 昇
タイトル ツドー工房／現像 IMAGICA

協力 証言者の皆さん、ルイズさんの友人、9・16集会の皆さん、日本基督教団西福岡教会
日影茶屋、川井 聡、近代映画協会、日本映画新社、日本コダック

財団法人東京女性財団助成事業、 芸術文化振興基金助成事業

協賛 株式会社 一ツ橋アーツ

製作 「ルイズ」製作委員会 株式会社フリー映像プロダクション

製作・監督・脚本 藤原智子

ルイズその旅立ち

(1997年/ドキュメンタリー/カラー/98分)

1923年9月16日、日本の社会主義運動の先駆者、大杉栄と伊藤野枝が甥の橘宗一少年とともに軍部に虐殺されてから、4分の3世紀が流れた。この事件は今も日本近代史の汚点として語り継がれている。

組織ではなく個人に立脚し「思想に自由あれ、行為に自由あれ、更に又、動機にも自由あれ」と唱えた大杉。真の女性の解放と自立を模索した野枝。この二人には4人の娘がいた。幼くして両親を失った姉妹は、養女に出された次女を除きそれぞれが困難な環境に育った。この映画は父母の志を自分なりに受け継ぎ、草の根の市民運動家として精一杯に生きた四女の伊藤ルイズさんの人生と、父母の思想の今日性を描き出す。

「水に流してはいけない事がいっぱいあるんです。
それをためて人生のパネにするんです」

両親が殺された時、1歳3か月だったルイズさんは、ひとつ違いの姉と共に博多の野枝の実家にひきとられ、祖父母に育てられた。祖父母の愛は深かったが、軍国主義の時代にあって姉妹は周囲の冷たい視線を浴びて成長し、心の傷つく事が多かった。姉妹はそれぞれの思いを胸中深くおさめ、布団を被って一人泣く夜もあったという。ルイズさんは結婚をするが、夫は、野枝の娘を妻にしたという事で、勘当同然の扱いを受けた。やがてルイズさんは4人の子どもをもうけるが、幼い頃から自分自身をおし殺し耐え続けてきたものの、結婚生活は破局を迎える。

「女はいくつになってもとべるんです。30でも40でも50でも60でも70になっても」

ルイズさんの人生は耐えるだけでは終わらなかった。1972年に、両親と一緒に6歳で殺された橘少年の墓碑が半世紀ぶりに発見され、1976年には、この3人の虐殺の鑑定書が公表された。鑑定書を見たルイズさんは、記憶にない両親に対して娘としての口惜しさを実感し、以来、人権を侵された先人に学ぼうという9・16集会を、博多で始めた。ルイズさん54歳の時である。更に松下竜一氏の『ルイズ 父に貰いし名は』の出版をきっかけに、全国の草の根を紡ぐルイズさんの市民運動が始まった。

その後、74歳を迎える直前に、ルイズさんは癌の宣告を受ける。しかしルイズさんは手術も延命処置も受けずに自然死を選んだ。人間の尊厳と自由を問いかけるルイズさんの死は、「何かを成し遂げた」人の見事な最期だった。

松下竜一氏(作家)

凛々としたルイズさんの声が、観終わったあとにも聴こえつづけている気がする。大杉栄・伊藤野枝という大きな名を負って昭和史そのものを生きねばならなかったルイズさんだが、年を重ねるほどにその精神が解放たれ輝いていくさまは、まぶしいほどであった。この映画によって、また多くの人々が生きる勇気を与えられることを確信している。

高野悦子氏(岩波ホール総支配人)

前作「杉の子たちの50年」で日本の近代史の真実に迫った藤原智子監督は、この作品でさらにその路線を深めました。市民運動に邁進し、人間の尊厳をもって死に臨んだルイズさんの生涯は、両親に対する歴史の偏見をも拭いさるものでした。この女性監督ならではの仕事に、昨年度の映画界の代表的な賞や、スポニチ文化芸術賞が贈られたのは当然のことでしょう。一人でも多くの方にご覧いただきたいと願っております。

●問い合わせ先

「ルイズ」製作委員会 ☎03-3702-1965

東京都世田谷区奥沢7-17-8 藤原方



9/5(土)よりロードショー! 関西初公開!!

9/5(土)~11(金) 連日 10:30 12:30 2:30 4:30

9/12(土)~18(金) am.10:10(朝1回限り上映)

特別鑑賞券1500円好評発売中!! 当日/一般1800円、学生1500円、中・小・シニア1000円

シネ・ヌーヴォ
地下鉄中央線「九条駅」6番出口下車
大阪ドーム方向へ徒歩2分
TEL06-582-1416

